



教科名：

シャシB1

2023年度

講義

一級自動車工学科

時期：

3年

後期

科目：

自動車整備

時限数：

18時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	メンテナンスのため	12/20	西浦
FY18	担当教員変更の為	3/1	西浦
FY19	教科名、時限数、教科概要変更のため	3/1	西浦
FY20	メンテナンスのため	3/18	西浦
FY21	メンテナンスのため	3/31	西浦
FY22	メンテナンスのため	3/31	中野

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科			2023年度 授業計画			
時期	3年後期	単元	講義	教科名	シャシB1	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	シャシ電子制御装置		発行日	2020/3/1新規
※ 注1	総時限		18時限	教科担 当	中野英樹	※ 注2 ● ■
※ 注1	授業時間		28.8時間			
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3859.2時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として電子制御装置に関わる整備の実務経験をもとにシャシ電子制御装置を指導する						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. 国家1級整備士「シャシ電子制御装置」テキストのEPS、ABSの構造・作動を理解し、システムの点検方法を習得する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
1. EPS、ABS装置のセンサ、アクチュエータの分類ができ、基本的な構造を理解する						
2. EPS、ABS装置のセンサ、アクチュエータ回路の正常、異常の判定を理解する						
3. EPS、ABS装置のセンサ、アクチュエータの異常検知の仕組みを理解する						
4. EPS、ABS装置のセンサ、アクチュエータ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解する						
5. センサ、アクチュエータ回路を外部診断機により故障診断ができる						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。○×、選択肢、虫食い問題により100点満点で評価する。 ・合格点70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある 						
5. 準備学習						
エンジン電子制御装置P78～P83、P122、P164 を読んでおく						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
1. EPS、ABS装置のセンサ、アクチュエータの分類ができ、基本的な構造を理解させる						
2. EPS、ABS装置センサ、アクチュエータ回路の正常、異常の判定を理解させる						
3. EPS、ABS装置センサ、アクチュエータの異常検知の仕組みを理解させる						
4. EPS、ABS装置センサ、アクチュエータ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解させる						

